

Leo alliance 11
17 Lions and 119 tanka
2023 summer



同
盟
獅
子
座
聯
盟



獅子座同盟 11 獅子座有志による獅子座アンソロジー 発行：2023. 07. 23 短歌：獅子座有志の皆さん



*Leo alliance 11
17 Lions and 119 tanka
2023 summer*



宇祖田都予	水や
早川夏馬	堂那灼風
桐野黎	宮嶋いつく
久藤さえ	おさとう
伊藤すみこ	森内詩紋
麻倉ゆえ	一色凜夏
かわはら	夏生薰
文月郁葉	高田月光
千原こはぎ	(誕生日順)



獅子座有志による獅子座アンソロジー
テーマ「星・宇宙・星座・獅子・夏」



桃はくさってしまうこと
螢は燃えてしまうこと
星は滅びてしまうこと
ドードー鳥も星座になった

高田月光

@v8QdMu8WOfj9vbi 08/22

昨年に引き続き、素敵な同盟に参加できてうれしいです！今年もたぶん最後尾です。
短歌を詠んでいます。うたの日とかTwitterにいいますので、よろしくお願いします。
ギリギリ獅子座でよかったです。

心臓はひとりにひとつこれ以上求めてはだめ桃を手にとる
はじめのデートは螢狩りだつた立派な恋ぢやなかつたけれど
浴室はあかるい夜空からだぢゅう流星群のあと光らせて
光るとは燃えてゐることあのときの螢は燃えてゐたのだらうか
燃え尽きた螢をすこし休ませて夜空になつたきみのスカート

浴室で滅びてゐたい見あげたらこんなにそばにちひさな太陽
あの夏を覚えてますかわたしたちドードー鳥のつがひでしたね

流星群のあと

ライオンになれなかつたねこ



ビロードのライオンカットなびかせてアフリカの風思い出すねこ
星を獲る瞬間のためライオンもこねこもながいお昼寝をする

キツチンでとうもろこしの汁啜る一粒ごとに犬歯立てつつ

ひぐらしよこれが夢かななつかしい熱をはらんだ庭の風かな
らいおん、と呼べばこぼるる流星のきみのまぶたのあわいに光る

夕立のしづくを振り払うように世界が無垢な声取り戻す

太陽と入道雲に両手振る姿のままにさらばひまわり

ここからは宇宙



盆踊り時間を止めろ星だけが通行できる夜の裏道

星たちが持てる力を發揮して夏合宿のバス停を裂く

法律に触れずに曲げるほうき星匂いで当てる架空のリスト

いにしえの天文台に座礁してクジラみたいな重力の星

片言で夜と話せば血管を駆け抜け抜けていく星のプリズム

夏の夜の座敷に集う星々となかったことに対するDNA

なくなつた星の彼方に月は満ち身体をもたないけれど生きている

う も だ み や こ
宇 祖 田 都 子

@Shinnsyutu2020

07/23

獅子座同盟を毎年楽しみにしています。
こちらへ投稿する短歌を考えているときこそが夏の始まりであり、夏を実感する時間です。夏は宇宙が近くなる。そんな感じがしてとても、広々とした気分になります。困われているものを解き放つ。そんな気持ちで作った七首です。今年ありがとうございました。

ここからは宇宙と言われ宇宙から生まれた淋しい宇宙のわたし。だとしても潮の満ち引きに応じてコップの水も少し震える。月光に満たされている真夜中の体をそっと逃がしてあげる。皮膚というグレートウォールだけが持つ触れるという感覺を信じて。星々の淋しさはシャンパンの泡みたいだね乾杯おやすみ。

な つ お か お る
夏 生 薫

@kaorunatsuo

08/19

初めまして。最近短歌をつくり始めて、のんびり読んだり詠んだりしています。ライオンが好きだけれど、ねこはもっと好きです。

ひまわりには「憧れ」「あなたを見つめる」という花言葉がありますが、実は枯れたひまわりにも花言葉があって、悪い意味かと思いきや、「情熱」「実り」「また明日」という夏の終わりを感じさせるものだそうです。ライオンにはなれなくても、また来年、しし座の季節がめぐってくるのを待ちますね。

白色より

鳥がゆく獸がゆく魚がゆくその身に白い骨を抱えて
話を終えてくじらは沈むその長い頭骨だけを鳥に託して
まつろわない感情の咆哮として涙が頬を走り続ける

あなたが見たひかりが星に届くまであなたと星をつなぐ孤独だ
目を閉じていてもからだに火は燃えて燃えては胸が波打つばかり

いつか誰かの飛び立つ理由になるのだろう誰かが描いたいつかの地上絵

あなたが描く色とりどりのたてがみのライオンのそのひとりになりたい
あなたが見たひかりが星に届くまであなたと星をつなぐ孤独だ
目を閉じていてもからだに火は燃えて燃えては胸が波打つばかり

八月十一日の彼女と



誕生日連番だけど私たちあんまり似てないねって笑った

お互いの彼氏のことを頓知気なあだ名で呼び合う午後のコメダで
盆過ぎの祭りに二人浴衣着てやぐらで踊る波乗りジョニー

いつだつて笑顔・明るい・やなことはすぐに忘れる（少しだけ嘘）

二人して散々泣いてなんとなくすっピンのまま星を見に行く

会うたびにとても快晴 私たち獅子には太陽の加護がある

サックスの音が聴こえてああ、そうだ、真夏は君と駆け抜けってきた

一色凜夏

@88rinrin23

08/13

真夏生まれの三重県育ち、短歌を始めて4年目です。1年ほど前にやっとTwitterを始めました。noteはその少し前からしてます。筆名通り夏も星も宇宙も好きです。
無所属ですが、こうした同盟に参加できて嬉しいです。夏っ子の皆さんどうぞよろしくお願いします。

早川夏馬

@kakahayama

07/25

東北芸術工科大学のクリエイティブでない学科卒。程度のひどいオタク。犬派芝党。友達超少ない。2019年、短歌沼に落ちる。未来短歌会所属。
今年も参加できて嬉しいです。みなさんお誕生日おめでとうございます。白って200色あんねんで。



骨が並んでいる。ずらっと。骨格標本だ。展示されたそれらはなべて白く、博物館の薄暗い照明に沈みきれずにいた。現存種、絶滅種、鳥、獸、魚。在りし日の姿に組み上げられた骨は、その姿をして生き方の多様性を提示していた。
しかしどれだけの姿形があろうとも、骨だけはみな嘘のように白かった。

獅子たる我の

私は獅子 炎天に清く咲きかおる八又の百合の乙女の詩歌の
私は獅子 都会の蟻塚たるビルは一顧だにせず熱風をいく

私は獅子 だが夕焼に涙する今日に果てたる命のために
私は獅子 一鼠引き裂く暇は無し たとえ我が詩歌盜まれしとも

私は獅子 幾千の夜の涼しさも癒せぬ渴き抱え彷徨う
私は獅子 我が咆哮は詩歌の屍を弔うがため捧げ置く薔薇

紺碧の天にレグルス金砂には足跡一つ 獅子たる我の

私は獅子

我が咆哮は詩歌の屍を弔うがため捧げ置く薔薇

遠い星



なつ かな しい 夏を思えばなつかしくかなしく響く胸何故に

遠い星遠い言葉と遠いひと遠いものしか愛せないまま

あの夏と君が云うときひそやかに波紋 なかぞらへと幾重にも

もしかして君と交信できるかも壊れた電波衛星ごしに

どうせなら一緒に銀河鉄道で旅した記憶捏造しよう

夏という巨大仮象が亡びゆき銀に炎上する観覧車

いつの日かペネタの雲の彼方まであの夏の空マントに変えて

桐野黎

@Tower11710

07/26

一人文芸俱楽部 Tower117として、詩：塔野夏子、五行歌：南野薔薇、短歌：桐野黎、俳句：星野響、文章：銀野塔と、筆名を分けて何やらいろいろ気の向くまことに書いています。獅子座同盟は四年連続四度目の参加となりました。今年も獅子座歌人の皆さまのとりどりの歌を楽しみにしています。

もりうちしまん
森内詩紋

@NJq4oEvg5glcRpu

08/12

夏が好きで星が好きで、夏の夜空を見上げるといつもそこは私にとってのカムパネルラだった誰かの気配に満ちている。だいたい常に夢見がちな私だが、特に夏には現実と幻影との二重映しがよりいっそうあざやかになる気がする。

#日常歌、で詠んでます。



昔々、金色の砂漠に獅子がありました。
オアシスに咲く百合を護る獅子でした。
その百合がヒトに手折られた後のこと、
獅子はその咆哮を弔いのための詩歌へ
と決めたのでした。今でも真紅の薔薇
が咲くたびに、人々は「獅子が哭了」
と噂するのだとか……

星と塩と

夏、生きるには必要な星があり塩こんぺいとう二粒ふくむ

オーロラを見にゆくことはきっと無い 推せるうちにと時折ゆらぐ
減らせないミユートワードとアクスタに透かした夏の向こうはきれい

海からのひかりは青い波になる十四星座のステンドグラス

水しぶききらきら浴びてたてがみがどんな色でも獅子は獅子だと

船旅にひと夜ゆきあう友としてあなたの一一番星を聞かせて

翻訳をかけずにわかる『明天見』星が約束してくれるなら

ふたつの軌道の交点で

だいたいの星占いは当たらない 獅子座がみんなポジティブなもんか
天地ほど離れたあなたは難解で思わず匙を投げた獅子女(スピングルス)

広大な宇宙で出会った彗星は振り返らずに通り過ぎてく

憧れのあなたはほうき星だった 手を伸ばす前に遠くへ去つて
等級の低い私は選ばれない 星屑の中に埋もれて眠る

憧れのあなたはほうき星だった 手を伸ばす前に遠くへ去つて
彗星と惑星の軌道が重なった日々が尾を引く あなたに会いたい

爽やかな夏を想い出すひとでした とはいえたは魚座でしたが



久藤さえ

@naekudo

07/26

2012年から作歌。途中、数年間短歌から離れましたが、また戻ってきて今に至ります。ひそかに憧れていた獅子座同盟に今年初参加することができて、とてもうれしいです。塩こんぺいとうでは塩うめ味が好きです。



おさとう

@sugar_to_osatou

08/12

獅子座同盟には三度目の参加となります。夏が近づくと「獅子座同盟の時期だな」と楽しみになったり焦ったりします。最近うたの日を始めました。出来はどうあれ、毎日歌を創るようになって短歌と向き合う時間が増えました。日常を大切に生きて、これからも歌がたくさん詠めたらいいなと思います。

横浜に住むようになってから、街のあちこちで星にまつわるものを見かけるように思います。たとえば連作に詠んだパシフィコのステンドグラス、海辺のレストランの名前、そしてベイスターズ。そろそろ15年になりますが、この街にはまだわたしの知らない海と星との結びつきがありそうです。

ライオンが力つこよすぎ

我こそがヒーローという顔をしたこの生き物はライオンといい

ライオンと呼ばれるでかいネコでありおのずと鍋に収納される

武者修行する若獅子に降り懸かるラーテル（レベル1）の襲撃

ライオンの首を蹴り折る脚力とバチクソしょぼい脳を持つ鳥

ライオンをものともしないキリンさえ迷わず呑みにむかうペリカン

ライオンの敵はライオン ニンゲンの敵はニンゲン 現し世は修羅

ライオンの雄は家族を守るため出る幕のないことを祈った

さそりを放つ



天の川は星のあつまり 「かわいい」という抜き型は眼に見えなくて

レジ袋を第二関節に食い込ませながら見上げた獅子の心臓

天上へ行ける切符も持っているだろう大谷翔平ならば

星型に成形されたプライドの先端はいつだって折れがち

わからぬいほうがかわいいんだつてよ あかいめだまのさそりを放つ

ほんとうの幸いを見つけるための目印として光る丸善

どこまでも一緒に行こうねえ待つて『あのこは貴族』めっちゃいいよね

いとう
伊藤すみこ

@110sumikodayo

07/27

2022年8月にまひる野に入会しました。作品Ⅲ欄にいます。おもしろい短歌をたくさん作って、いずれ歌集を出版することが今の目標です。短歌以外の近況は、WBCで佐々木朗希選手のファンになり、毎日千葉ロッテマリーンズの試合を観ています。今この瞬間もZOZOマリンスタジアムに行きたい。

みやじま
宮嶋いつく

@miyazima_izq

08/11

「たぶんこれ銀河鉄道の夜」という音楽劇を観た。舞台音楽は全てローファイヒップホップ。丘にいるジョバンニが銀河鉄道に乗るまでの描写にうっとり。宮沢賢治の文章がそのまま曲の歌詞になっており、彼の文章は韻に溢れることに気付かされた。わたしも綺麗な音の短歌が詠めるようになりたい。



ライオンはプライドという家族単位の群れで暮らし、雄はリーダーとして家族を守ります。その愛情と献身は盡長類の誇りであるあのパタスモンキーに匹敵します。家族の守護者たるこの二頭が出会う時、パタスモンキーはバチクソ弱いので、ライオンに連れて行かれます。

あの子の月影



月を見てつぶやくあの子に惹かれではタイムラインを臥して待つ夜

「きれい」って素直に書けるあの子には月は呪いにならないのだろう

私は月の魔力が強すぎて直視できなければと思うよ

まんまるじゃないはずだけど「月まるい!」真円だけが丸ではないね

その月の名を教えた（おせつかい）伝えられない夜が流れる

月の弓あの子の空に届くよう私の祈り反射してくれ

日々変わる光の色を知っているあの子の月はあの子の心

小炎



星が燃える仕組みを知つてもわからない星はどうして燃えているのか

星がただの光であつた昔から日が落ちたならささやかな火を

映すには遠い光よ真夜中の川は夜空に目をくれずゆく

ろうそくを吹き消すことは減つてゆく命をそこに顕す行為

永遠を信じられない口先で輝く星を恒星と呼ぶ

火の中で生まれ変わつてゆくのだと小さくなつた遺骨が告げる

星々のはるかな流転のなかにあり私をつくるわずかな元素

堂那灼風

@shakufur

08/10

31歳になる回ですが、ついに獅子座にもライオンにも関係ない作品を提出してしまいました。想定外！ 先日、現実への批判を伴わない幻想は現実逃避にすぎないという評価を受けるおそれがある、という意見を目にし、現実逃避で読み書きしているだけに耳が痛いなあと考え込んでしまいました。

人が死んで星になるというのは飛躍した空想だと思う。けれども、死骸が星に還り、星もいずれ宇宙に還るのだとしたら、遙かな未来で我々に連なる星が生まれることはあるのかもしれない。夜空にはそういう星だってあるのかもしれない。

麻倉ゆえ

@AsakuraYue

07/29

あまり詠めない。あまり読まない。『獅子座同盟』に参加すること10年目。星のソムリエ®の資格をもつ星空案内人として、人々に星を見せる活動をしている。コロナ禍でイベントも減り、数学力不足で天文学の勉強も進まず、ゆっくり自分にできることをやるしかないと思う日々。

あの子が描く空の絵が好きだった。気づけば、よくわからない言葉に揺さぶられて、不思議と恋しくなった。「見た月の様子と気持ちを書く」という、あの子の些細なライフワークに、心を搔き乱された。そして出逢ったあの時、あの星空のすべてを伝えきれなかったことを、まだ悔いている。

星屑夜



眠る前星屑かぞえ息をする明日はきっと晴れていますよう曇昧に今日を見ているストロボがくらくら甘い目を浮かべてる

未来とは夏とは夢を見ているよふりそそぐ永遠と死と知つてゐよ

ひまわりの迷路をあるく君がいるやさしい幻はもういないすこしだけうつむいているこいぬとか撫でてみでいる綿のつまつた

天高く吠える獅子の孤独を見てわたしは荒野花をさがして夜になる前に帰ろうやわらかなベッドの上で祈りを紡ぐ

星の街



この街は夜中でも明るすぎて星なんて見えないが、ひとたび地上に目をやるとそこかしこに星が煌めいている。とても綺麗な街だ。しかし、いつかは満天の星空の下で君と獅子座を探したい。

星を見に行こうと君に手を引かれやつてきたのはプラネタリウム宇宙飛行士になりたいという君に白いジグソーパズルを送る君の作る人工衛星で探しに来て遠い星でひとりぼっちの私を海の向こう空氣の澄んだサバンナでは獅子も獅子座を見上げるだろう

かわはう

@suikamikan_kawa

07/30

短歌初心者です。普段はうたの日に投稿しています。こういった企画に参加するのは初めてですが、少しでも「この歌ええやん」と思っていただければ幸いです。

みや

@m_iya_o

夜も暑くてとけだしています。体力がほしいです。今年も書きますプラネタリウムに行きたいです。

08/02

遠く鳴く獅子の子がひとり、どこかでわらう兎の子がひとり、耳を立てた犬の子がひとり、星の海で丸くなる猫の子のもとへと向かう。青い海は過ぎ去って久しい。今はもう、赤い邱の海だった。獅子が、兎が、犬が、集うため進んでいる。星屑に乗って猫は歌う。いつかかれらが出会うための物語。

Butterfly effect



はちぐわつの獅子座生まれのココ・シャネルその影長く生にかかるも

闊歩せよ夏の光のまばゆに抗ふ Little black dress

夏空へ光をかへす白き傘われら一粒の真珠のやうに

シャネルとゞファッショニアイコンはばたきを決してやめぬ黒揚羽 見て

うばたまの黒き夜空を装へば真珠はミルキーウェイのひかり

両翼を持たざるわれら両腕で鎖されしどアを開くこくつも

ひるがへすスカートの裾 Butterfly effect さもう始まつてゐる

アンタレス



わたしだけ残されてゐる七月の夜にあなたが灯すあじさこ

いつものようでいつもと違う夏がきてやつぱり星の見えない窓辺

写真立てに入れたあなたはおひさまのようで孤独の夜にやさしい

ねえ星になつてよ眠れない夜をしようがないと見下ろしていく

耳鳴りのような汽笛が天の川から降る 今どのあたりにいるの

どこまでも一緒に行くと思つてた夜更けひとりで目覚めてしまふ

蠍にはなれそななくアンタレスもうすこし足搔いて生きてしまふ

千原こはぎ

@kohagi_tw

07/31

隔月刊の短歌誌「うたそら」編集鳥。鳥歌会・滋賀で歌集を読む会主催。短歌アンソロジー・折本歌集などをっています。歌集『ちるとしふと』(書肆侃侃房)、短歌本『これはただの』(私家版)。

今年もなんとか獅子座同盟が発行できそううれしい。

当たり前だったあなたがいなくなり、この夏は息がすこしづらい。覚悟ならしてたつもりで、でも覚悟なんてできないものだ。実際、何ひとつ現実なんて見てなくて、まだ夢みたい。ただ走ってる。

文月郁葉

@198hitomosi

07/30

未来短歌会・陸から海へ欄所属。浅野暢晴さんの彫刻作品「トリックスター」たちと暮らしています。関東在住。
久しぶりに獅子座同盟に参加いたしました。よろしくお願ひいたします。

先日、ryuchellの生前遺した言葉に胸を打たれた。「世界が変わらなくても、時代は変われる」

ココ・シャネルの生誕から140年。ジェンダーの壁をシャネルはファッショングで飛び越えた。今はかき消されそうな小さな声がやがて歌となり、いつかバタフライエフェクトとなりますように。